

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの実践 身体拘束委員会(毎月のミーティング)にて不適切ケアの廃止を目標としている。 馴染みの関係であるがゆえの固定観念や支援等の対応	毎月の会議で議題に上がらない様にする 不適切ケアゼロ	現在続けている、日頃感じている記録を継続しつつ、同じ様な意見が出ない様に、スタッフ間でも指摘しあう。 上記対応しつつ、別途対策あれば、試行錯誤しつつも、全員でミーティングで対応。	12ヶ月
2	27	個別の記録と実践への反映 iPadの活用により記録時間短縮されているが、気づいた事の記録(大事と思われる行動や言動)もれ。 その事から次に生かせる支援への考察・申し送りが続かない。	iPad活用にて記録時間削減可→記録の充実 やり取り等大事な事をもれなく記録する	記録不備事項は、付箋として残している(継続中) 指摘事項を早期に追記記録へ	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。